

イエスさまのご降誕をお祝い申し上げます。
今年も一年間コロナ禍の厳しい状況の中でしたが、お祈りと心温まるお声かけや、多くのお献げものをもって全てを支えてくださり、言い尽くせない感謝でいっぱいです。

この年を振り返ってみますと、別れと出会い、そしてチャレンジの年だったように思います。期待や希望を失うような時もありました。悲しくなることもありました。しかし、主はその時々立ち上られる材料を提供してくださり、助け手を送ってくださったので、やはり主は最善を為してくださる、ということを確認させて頂いた年となりました。

クリスマス礼拝はスカイプにて、子どもたちと合同で、一足早く12日にお献げしました。当初は会堂を予定していましたが、その頃からドイツではオミクロン株による感染が驚異的に広がり始めたので、急速2週間前に会堂での礼拝は中止とし、スカイプに変更しました。

降誕物語の画像をパソコンに映し、子どもたちが聖書朗読をしたのですが、子どもたちの存在そのものが大いなる喜びと恵みとなりました。しかし、準備の段階では、画像や動画を映し出す操作の経験がない私は不安で胃が痛くなりました。その苦悩に寄り添いながらやり方を教えてくださる方、更に練習に付き合ってください方等、多くの方々に助けて頂きました。

10月から無牧となった隣国の教会の方々が、私たちの教会の礼拝に参加されていますが、そのメンバーのある方が「気張らなくてよいから、楽しい時となるといいですね!」と慰めてくださり、その一言で緊張が解けました。又、昨年同様に前任教会のハンドベルクワイヤーの方々の演奏動画を共有させて頂き、大勢の方々の愛の結晶故の心温まるクリスマス礼拝となりました。

2022年も主を中心としてお互いに支え合いながら希望をもって歩んで参りたいと願っております。どうぞ引き続きお祈りをお願いいたします。
日本の皆さまにおいても、喜びのクリスマスと希望の新しい年となりますようにお祈り申し上げます。
1年の感謝を込めて。

お借りしているボンヘッフアー教会



アドヴェント第1主日・11月25日に会堂でお献げした後、会堂での礼拝は自粛しています。

アドヴェント克蘭ツは天井から吊るす形が殆どです。一般家庭でも広いお宅では、吊るしているのを見かけます。

我が家のクリスマスツリー
ドイツならではの



ケルン大聖堂前のクリスマスマーケット。南、東ドイツでは中止でしたがケルンでは開催されていました。流石に閑散としていました。多分、観光客はおらず、地元の人々だけの様な感じでした。



長居は禁物!!
サクサクと1周して帰ってきました。



16時過ぎには真っ暗になるので、マーケットの明るさに救われます。

お店に並んでいた時にはこれ程大きいとは思わず運ぶのに至難の業「火事場の力」で!!
ということで、今年はとても重くて縦ノ木回収日にはベランダから投げることができないので、ノコギリで解体するしかありません...



マーケットでは入場制限があります。
ワクチン接種者とコロナ感染回復者のみ許可されます。
証明を受けた証拠のハンコを手を押されました。